



月刊美術

2021年6月号 注目展136Pに
『和を以て貴しと為す展』を
ご紹介いただきました

今月の注目展 ⑩

和を以て貴しと為す展

—かわうそ画廊(新富町)—

描かれた「和」
日本文化の
ハーモニー



森ゆだね 桜桃 27×24cm 紙本彩色



柳田補 和むII
4F 油彩



七尾尚子 白澤
25×18×16cm 石塑粘土、油絵具、アクリル



妃耶八 紅草一輪 4F 紙本彩色



岡啓介 出せない手紙 4F 油彩



【出品作家】
柳田補/岡啓介/辻信之/妃耶八/九鬼匡規/
七尾尚子/樋口ひろ子/森ゆだね/三輪陽子/
鈴木那奈/金子圭太 ほか

和を以て貴しと為す展

会期 — 6月5日(土)～11日(金)

日曜休廊
12時30分～18時
(最終日は16時まで)

会場 — かわうそ画廊
東京都中央区新富1-8-11
東新ビル4F
☎03(3552)0550

九鬼匡規 天帝少女・月
4M アクリルガッシュ・胡粉ジェッソ

演。 新人からベテランまで約10人の競演。
「和を以て貴しと為す」は洋画、日本画、彫刻の気作家が日本を意識した衣装やデザインを取り入れて制作した新作小品展で今回が5回目。和服の美人画、御伽噺や神仏に由来するイメージが、会場で穏やかなハーモニーを奏でる。
平和・和解など人と人との良好な関係を意味すると同時に、和装・和文など日本の文化でもある「和」。また和音・調和など音やリズムを合わせることも含意する。